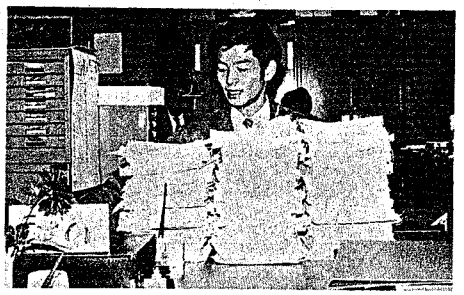
これが1カ月分の医療費

15キロ―― 10,800枚

3,300万円也で～す



この写真の山は、みなさんがたがお医者さんにかかったもののうち、国保から支払いされる分の請求書です。

国保で健康明るい社会

国保料は納期限まで忘れずに納入しましょう

幅広く健康指導

からだの悩みは早く解決を

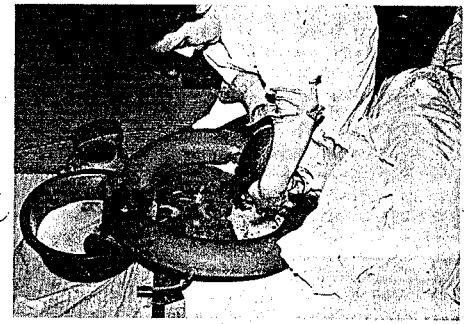
保健婦

市の保健課には、保健婦が現在十一名おります。保健婦は、市民のみなさんの健康管理のお手伝いをしている関係で、国保とも深いつながりがあります。

最後にその主な活動をご紹介しながら、保健婦活動に対するみなさんからの理解と協力をお願いします。

保健婦のしごとでもっとも大切なことは、家庭を訪問して健康に関する個人指導をすることにあります。結核や成人病、精神疾病患者に対する社会復帰、または母子の生活相談や指導、看護技術から精神面における相談ごと、親にもいえない相談ごと、医療機関と患者とのパイプ役を果たしながら、幅広い活動をしているものです。また、数多い医療無料制度への誘導なども、積極的に行なっています。

からだの悩みは心の悩みです。気になることは早めに保健婦に相談するなどして解決しましょう。



身のまわりのお世話―家庭看護も大切なしごとです

各種検診から からだの異常者を発見

数多い健康な人から、きわめて少ないからだの異常者を発見することは、高い費用と多くの労力、活動が必要です。保健婦は、各種検診業務を通じてこんな活動もしています。次を見てください。高血圧症を自覚した人たちのうち、卒中発作でたおれた人たちと死亡した人たちが一昨年と昨年では、わずかながら減少してきているというよい結果がでています。

●卒中発作でたおれた人

四十六年中……八四人
四十七年中……七五人

●卒中発作で死亡した人

四十六年中……三二人
四十七年中……二二人

このほか「バランスのとれた食事…」をテーマに、食生活の改善、高血圧患者の食生活など、指導関係者のみなさんと協力して、保健教育活動も行なっています。

国保と交通事故

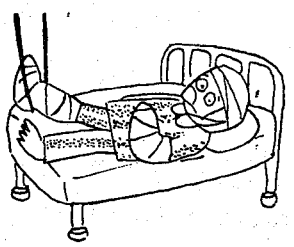
国保を使うとき――まず保健課へ

交通事故は、毎日かかさず起きています。不幸にして交通事故に会い、国民健康保険証を使って治療を受ける場合には、必ず保健課へ届け出るようにしましょう。

もともと交通事故の責任は加害者にあるのですから、治療費も当然加害者が負担すべきものです。しかし、加害者に即座に支払う能力がなかったり、話し合いに時間がかかったりした場合には、医療機関に迷惑をかけられませんので、国保がとりあえずお役に立つわけです。というのは、あくまでも加害者が負担すべき治療費を、国保が一時かわって支払いし、後で加害者に国保が請求するということになります。

また、交通事故を示談で解決することがよくありますが内容によっては、思わぬ損害を受けることもあります。ケガが治るか、治る見込みの診断があって後遺症や全損害額がはっきりするまでは慎重に進めるべきですね。

国民健康保険の財源は、被保険者のみなさんが病気やケガをした時の医療費に使われるもので、決して無駄に使われることは許されません。ですから、不幸にして自動車事故など、第三者の行為によって病気になったり、ケガをした場合には、早く必ず市の保健課に届け出ることを忘れないでください。



手続きをとれば国保で治療ができます。

日曜当番医変わる

十二月だけ

九日と二十三日の日曜日

十二月中の日曜に急患を担当する「当番医」が、次のとおり変更になりました（さっそく四月一日号広報＝付録を直しておきましょう）

●十二月九日(日)の担当医
　権平医院と伊藤医院

●十二月二十三日(日)
　山田外科医院と大坂医院

古今川柳漫歩 (21)

人生の或る岐路に立って一思案の結果、心を或る一点に向けて、まさに動き出そうとする姿態を助詞「へ」によって含蓄的に詠み出した句がある。

●手のひらのチップへ覚悟出来ている（伊藤蘇子）

夜の蝶などが、客から意外に多いチップを握らされ尻込みもせず、こっそり受取るからには、それ相応の覚悟が出来ているに違いないというのであるが、これはチップと夜の蝶の心に視点を置いて詠んだものである。

同じような意味の句でも客の話語を詠み込むと共に女の姿態を描写している句に、

●折れそうな風情へ「いいね」と握らせる（青木酔泉）

というのが見られ、この「いいね」は女の覚悟を促しているものとして意味深長である。

この話体川柳では、話語が唯「いいね」の一語であっても、「折れそうな風情」に相応じて効果的に用いられている。

●「酔わせてよ」、しらふで云えぬこの悩み（島倉三郎）

前の句は全句描写で出来ている例であるのに対し、この句での純粋の話語は「酔わせてよ」だけであって「しらふで云えぬこの悩み」は、この女の心の中の説明となっているので、何となく冗漫な感じがする。すなわち、読者に想像させた方が良いことを、吟者が

助詞の「へ」と停年の句

阿達義雄

先取して言ってしまったからであろう。

助詞の「へ」にしても、「手のひらのチップへ」や「折れそうな風情へ」の場合は、事態を瞬間的に決定するような一か八かの行動に関与するものであったが

●五十五年ただ恩給へ靴が減り（小林利明）

●停年へストをやる気もぬけて行き（伊藤源吾）

右の二句に見られる「へ」は、比較的巾のある緩漫な時間と起伏のない方向を示唆しているので、ロマンのない非常に現実的な句となっている。が何だか身につまされるようである。

で、参考迄に今度は停年の句を少し並べてみると、

●停年という合法の絞首刑（濱ろう子）

●停年をこぼしながらも家を建て（星友一）

●退職金まかない切れぬ子が残り（高橋芳平）

●停年のぐらつき出した亭主の座（関義一）

●停年の目に懐しいビルの窓（金子信夫）

みな御尤もと頷かれる句ばかりである。

（新潟大学名誉教授）

市民会館の使用申込み

公民館へ

会館内へ移転しました

市の公民館が、記念公会堂内からこのほど新装なった市民会館内へ引っ越しました。そして、今後とも市民会館の管理、運営にも当たることになりました。

会館をご利用になりたいかたは、直接市民会館内の公民館へお申し込みください。電話は二―九六六六番と二―九六六七番の二本あります。

なお市では、市民のみなさんの便宜を考え、当分の間教育委員会（市役所）でもその取り次ぎをすることにしています。

公会堂の申込みは

市民課です

日宝町にある記念公会堂の使用申し込みは、こんど市役所の市民課で扱います。

会合に催しなどに、これまでどおり気軽にご利用ください。電話は二―二一一一番の市民課を呼び出してください。

新しい民生委員に

堀さんと樋浦さん

小戸上、梅ノ木地域を担当

小合の一部地域を担当する民生委員が変わり、次の新しい民生委員が決まりました。

○…小屋場地区
　樋浦善雄氏
　（梅ノ木）
　四九歳

○…梅ノ木・小戸上組・栗宮地区
　堀公明氏（小戸上組）五九歳

これらお二人のかたからは今後社会福祉増進のため、いろいろとおほねおりをいただくことになりました。

これまでは、梅ノ木地区を渡辺益男さん、小戸上組地区を小林楢一さんとそれぞれの地域を担当、ご活躍されていたものです。

なお、新しく民生委員になられたかたがたには、十二月一日付けで厚生大臣から委嘱されることになっています。

素速いメカが素速い売れゆき!
カメラの10カ月払い、ミノルタカメラショップ
ひかりあざやかさくらカラー
㈱コダカメラ店
本町2丁目 ☎(2)0583
ミノルタSRTスーパー
ミノルタSRT101

ボリュームある肉料理専門店
とんかつ すき焼
箱岩
新津市本町3 TEL(2)4516